

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

第2章 東日本大震災に学ぶ防災とまちの復興－宮城県を例に－

東日本大震災から 10 年。私は当時、坂戸高校で 3 年生の担任をしていました。3 月 11 日の午前中は卒業式予行、午後は卒業式の準備等で職員室にいたとき、激しい揺れに襲われました。東上線は止まり、多くの生徒が帰宅できなくなりました。道路は大渋滞。テレビから流れる大津波の映像。最後まで学校に残った生徒を車で自宅まで送り、翌 12 日午前 2 時ごろ帰宅できました。

1 節 震災当時のことを覚えていますか？

先生：地震発生時は職員室にいました。ちょうど卒業式予行に欠席した生徒に電話していたときに大きな揺れを感じました。机の上の書類が落ちないように必死で抑えていたんですよ。震災当時のできごとで記憶に残っていることはありますか？

問1 下線部に関して、(i) 2011 年 3 月 11 日時点のあなたの年齢を答えなさい。(ii) 震災当時（おおむね地震発生から 1 年間）のできごとで覚えていることがあれば箇条書きで答えなさい。

2 節 地理院地図の基本操作を確認しよう

生徒：先生！地理院地図って地理の学習に便利だと聞いたんですが・・

先生：私もふだんから使っていますよ！地理情報システム、略して () の一つです。これからの学習でもよく使いますので、地理院地図の基本的な操作を確認しておきましょう。

問1 空欄にあてはまる語句を、教科書 p.7 を見て、ローマ字 3 字で答えなさい。

問2 下線部に関して、地理院地図を開いて、次のことができるか確認しなさい。

<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.332828/140.141602/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f2>



- (i) 検索窓に自宅最寄り駅の名前を入力して、最寄り駅が正しく表示されましたか。
- (ii) (スマホのみ) GPS を利用して、現在地が正しく表示されましたか。・・事前に Wi-Fi を ON にしてブラウザの位置情報の利用を許可しておく必要があります。
- (iii) 色別標高図が表示されましたか。・・「地図」アイコン>（場合によっては）「トップ」>「標高・土地の凹凸」>「色別標高図」
- (iv) 色別標高図を非表示にできましたか。・・地理院地図のみ表示されている状態。
- (v) 「地図」メニューを非表示にできましたか。



* スマホは iPhoneX, ブラウザは Google Chrome. 詳しくはこちら。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/chiriinchizu_20200314.pdf



3 節 地震発生のおくみを知らう

生徒：東日本大震災を引き起こした地震は「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」という名前によばれているそうですね。(1)地理院地図で震央（地下にある震源の真上）を表示することができ るんです。

先生：(2)震央は日本海溝のそばにあるんですね。どのようなしくみで発生した地震なのか気象庁の Web ページで調べてみましょう。

問1 下線部(1)に関して、震央を地理院地図上に表示し、震央の緯度と経度を答えなさい（度分秒でなく小数）。そのさい、北緯・南緯、東経・西経のいずれかを必ず付けて答えるものとします。地理院地図の操作手順は、「地図」のアイコン>（場合によっては）「トップ」「近年の災害」>「地震」>「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」>「震央」です。場合によっては地図が表示されるまで左下の「－」のボタンをタップし続けてください。

問2 下線部(2)に関して、日本海溝は陸のプレートである（ a ）プレートの下に海のプレートである（ b ）プレートが沈み込んでできた場所です。平成 23 年東北地方太平洋沖地震は、（ c ）の地震に分類されています。空欄にあてはまる語句を、次の Web ページを見て答えなさい。

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/jishin/about_eq.html



4 節 大津波の発生と沿岸地域の被害について知ろう

生徒：プレート境界の地震によって津波が起こることがあるそうですね。

先生：通常の波は海の表面の海水が動いているだけですが、津波は（ ）。

生徒：なるほど…。だから、津波は沿岸地域に大きな被害をもたらすんですね。



問1 空欄にあてはまる文を、次の Web ページを見て答えなさい。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/generation.html>

生徒：平成 23 年東北地方太平洋沖地震では、大津波によって広い地域で大きな被害がありました。

先生：津波で浸水した地域を地理院地図で見てください。

生徒：東北地方だけでなく、千葉県の上総半島でも浸水している地域があるんですね。

問2 下線部に関する各問に答えなさい。

(i) 津波浸水範囲を地理院地図に表示しなさい。操作手順は、「地図」のアイコン>(場合によっては)「トップ」>「近年の災害」>「地震」>「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」>「津波浸水範囲と自然災害伝承碑」>「東北地方太平洋沖地震津波浸水範囲」です。地図を拡大すると、浸水範囲が青で示されていることがわかります。

(ii) 宮城県南三陸町波伝谷(はでんや)地区を地理院地図で表示しなさい。操作手順は、検索窓に「南三陸町」と入力してQアイコンをタップします。地図を見ると、南三陸町の海岸地形は典型的な(a)海岸だということがわかります。波伝谷地区は町の中でも南東沿岸に位置しているので、国道 398 号線に注目し、地図を拡大して探しなさい。波伝谷地区では津波は(b)を遡って標高(c) m ほどの場所まで到達していることがわかります。

(iii) 宮城県仙台市宮城野区・若林区にまたがる七北田(ななきた)川と名取(なとり)川に挟まれた仙台市東部地域を地理院地図で表示しなさい。検索窓に「仙台市宮城野区」と入力し、二つの川が画面上に表示されるように、地図のサイズを調整します。仙台市東部地域のうち若林区ではかなり内陸まで浸水し、津波の先端部の標高は(a) m、海岸からの距離は(b) km です。宮城野区では盛り土の上を走る(c)色の道路(E6 など、常磐自動車道・仙台東部道路)が堤防の役割を果たし、これ以上内陸部への浸水を食い止めたことがわかります。

* 一般的な建物の1階分の高さは約 3m です。もちろん建物によって変わります。

生徒：震災当時、私はまだ小さかったので、正直、ほとんど記憶がないんです。ですが、当時の津波の状況は YouTube で見るができるんです。

先生：では、(1)仙台区若林区の荒浜小学校付近の仙台区東部地域の動画を一緒に見ましょう。

生徒：津波前の荒浜小学校周辺の様子も知りたいです。

先生：では、(2)今昔マップという GIS で確認してみましょう。

問3 下線部(1)に関する各問に答えなさい。

(i) 荒浜小学校は現在は閉校し、震災遺構として内部の見学ができるように整備されています。また申し込みをすれば、ボランティアの方が一緒に歩きながら解説してくれます。地理院地図で旧荒浜小学校を表示しなさい。操作手順は、検索窓に緯度経度(38.222344,140.980586)を入力し、Qをタップしてください。

(ii) 次の Web サイトを開いて、動画を視聴しなさい。なお、1分22秒～1分33秒の間に映っているのが荒浜小学校の屋上です。

<https://www.youtube.com/watch?v=jaYXK8FDOtM>



* スマホは iPhoneX, ブラウザは Mozilla Firefox. 詳しくはこちら。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/konzyakumap_20200314.pdf

問4 下線部(2)に関して、次の Web サイトを開いて、空欄にあてはまる語句を答えなさい。

https://sv53.wadax.ne.jp/~ktgis-net/kjmapw/kjmapw.html?lat=38.220397&lng=140.982764&zoom=15&dataset=sendai&age=2&screen=2&scr1tile=k_cj4&scr2tile=k_cj4&scr3tile=k_cj4&scr4tile=k_cj4&mapOpacity=10&overGSItile=no&altitudeOpacity=2



今昔マップは、旧版地形図と現在の地形図を同時に表示することができる GIS の一つです。今、画面に映っている旧版地形図は、1963～1967 年の荒浜小学校付近のようすを示しています。ちょうど前回の（ a ）が開催されたところです。図中の「**文**」が荒浜小学校で、荒浜集落のはずれ、海岸から（ b ） m ほどのところに位置していることがわかります。荒浜集落は海に面して立地していることから、古くから漁業がさかんで、加えて農業も行う半農半漁の集落でした。集落の中央には海岸線と平行に水路がありますが、これは（ c ）とよばれています（地図を南にスクロールすると名称が表示されます）。これは伊達政宗が命じてつくらせたと言われる運河（人工的につくった船の通り道）で、江戸時代から明治時代にかけて延長されていきました。次に、旧版地形図の年次を「1995～2000 年」に変更しましょう。すると、小学校の西側を南北に走る道路（県道 10 号線・塩釜亘理線）に沿って新しい（ d ）ができていることがわかります。ここに巨大津波が襲いかかったのです。

5 節 仙台市の震災復興について知ろう

先生：たいへんな被害を受けた仙台市では、どのように復興を進めようとしたのでしょうか。ここでは、仙台市宮城野区南蒲生（みなみがもう）地区に焦点を当てて、仙台市、南蒲生地区の住民、そして両者をつないだ会社の三者の立場で考えてみましょう。

生徒：今、*今昔マップで(1)南蒲生地区を含む**仙台市東部地域を見ているんですが、気になることがあるんですね。何というか、(2)海岸線と平行に走る県道 10 号線（県道塩釜亘理線、黄色の道路）の東側（海側）に注目すると…。

* 問 1・2 は、今昔マップの画面を見ながら解答してください。

https://sv53.wadax.ne.jp/~ktgis-net/kjmapw/kjmapw.html?lat=38.253650&lng=140.996003&zoom=14&dataset=sendai&age=4&screen=2&scr1tile=k_cj4&scr2tile=k_cj4&scr3tile=k_cj4&scr4tile=k_cj4&mapOpacity=10&overGSItile=no&altitudeOpacity=2

** 仙台市東部地域とは、ここでは七北田川と名取川に挟まれた低地（海岸平野）を指します。



問1 下線部(1)に関して、南蒲生地区は七北田川の（ ）の「原屋敷」や「鍋沼」の字（小集落）からなる地区です。空欄には右岸・左岸のどちらかが入ります。

問2 下線部(2)に関する各問に答えなさい。

(i) 県道 10 号線を南蒲生地区から名取川に向かって今昔マップの画面をスクロールしていくと、南蒲生地区と新浜地区を除いて何かに気づきます。このことについて 1 行の文章で答えなさい。

(ii) 先の (i) で答えたことは、仙台市の震災復興計画と密接に関係しています。これは県道 10 号線を (a) して津波の堤防として利用するとともに、海岸堤防と (a) した県道 10 号線の間を居住禁止区域に設定し、内陸への (b) を進めたことによるものです。居住禁止区域では、にぎわいを取り戻す事業が仙台市・住民・企業・NPO などとの協働で進められており、仙台市百年の杜推進課では、*「(c)」を実施しています。



空欄にあてはまる語句を、次の Web サイトの資料の p.17 と p.21 を見て答えなさい。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/yuki_slide.pdf

* 空欄 c のプロジェクトの一つに「居久根 (いぐね) の再生」があります。居久根とは、家を囲む屋敷林の仙台での呼び名です。このあとの問 4 と関連しますので、上の資料の p.35 を見ておきましょう。

生徒：南蒲生地区ではどのように復興に取り組んだんでしょうか？

先生：南蒲生自治会の中に「復興部」という新しい組織を立ち上げ、自治会と住民が一丸になって杜の都の田園都市を受け継ぐ「新しい田舎」を目指すことを目標に取り組んだそうです。

生徒：でも、素人の住民が主体となってというのは、難しい感じがするのですが…。

先生：いいところに気づきましたね！南蒲生地区では、(1)町内会と仙台市（行政）を結ぶ懸け橋として、そして町内会を支援する役割を担う都市デザインワークス（UDW）と協働して復興プランを立案しました。2013 年 3 月に「南蒲生復興まちづくり基本計画」を決定し、「新しい田舎」をつくるために、(2)3つの重点プロジェクトが始動したんです。

生徒：まちのことは住民がよく知っている、まちづくりのことは TDW がよく知っている。「餅は餅屋」ということですね。でも一つ疑問があるんです。南蒲生の住民は UDW に頼りっきりになってしまうのではないのでしょうか？

先生：(3)そういう心配もありますね。

問3 下線部(1)に関して、このような役割を担う会社を()会社といいます。空欄にあてはまる語句を、次の Web ページを参考にカタカナで答えなさい。
https://job.mynavi.jp/career_tanq/articles/?id=49



問4 下線部(2)に関して、3つの重点プロジェクトとは、①安全・安心な暮らしができる環境づくり、②次代につなぐ居久根のある景観づくり、③南蒲生らしさを活かした産業・交流づくりです。ア～ウの具体的な方策は、三つの重点プロジェクトのどれにあてはまりますか。次の Web ページを見て①～③の番号で答えなさい。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/haga_shiryou.pdf



- ア 地産地消を進める農家レストランへの協力
- イ 住民交流イベント等の開催
- ウ 移転跡地を含む土地利用方針の検討

問5 下線部(3)に関して、このような心配を防ぐために、南蒲生地区をサポートする上で UDW が大切にしたこと（心構え）は何でしょうか。次の Web ページを見て答えなさい。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/okai_slide.pdf



6 節 命を守るための行動を考えよう

生徒：5 節までの学習を通じて、命を守るには何が必要なんだろうと考えるようになりました。

先生：防災について学ぶことの一番の目的は、まさにここですね！では、(1)震災当時、荒浜小学校の校長先生だった方の証言を動画で見てみましょう。

生徒：私は(2)校長先生のお話から、地震や津波だけでなくあらゆる自然災害でも共通の教訓を得たような気がします。

先生：なるほど…。最後に、津波から命を守るためにどのような避難行動をとるべきか考えてみましょう。(3)あなたは家族と一緒に仙台市唯一の海水浴場である深浦海水浴場（北緯 38.217919 度、東経 140.986240 度）に車でやってきました。砂浜で遊んでいると、これまで経験したことのないような大きな揺れを感じました。(4)このとき、あなたと家族はどこに避難したらよいのでしょうか？

問1 下線部(1)に関して、動画を視聴して空欄にあてはまる語句や数字を答えなさい。

https://www.youtube.com/watch?v=KbdJ_gPB_JI



- 地震は 2011 年 3 月 11 日（ a ）<時刻>にはじまり 2 分近く続いた。津波の到達は、時計より判断すると（ b ）<時刻>であると推定される。
- 職員室の防火用の非常放送や津波の警報システムは（ c ）が切れており、使える状況ではなかったので、（ d ）を使って指示を出した。
- ハンドマイクで校庭にいた児童に（ e ）に一回戻るように指示した。そのころ、屋上の非常サイレンが鳴っていたはずだが、校長先生には（ f ）がない。
- 15 時過ぎに各階の教室に一時待機していた児童に対して、（ g ）階に避難するように指示した。
- 15 時 10 分ごろ、1 階の昇降口では職員が手分けして一時帰宅していた児童や地域住民を校舎内に誘導した。大津波警報が出ていたことは（ h ）が、大きな地震だったのである程度の津波が来ることを予想していた。地域の方々は（ i ）を越えるような津波は予想していなかったし、ましてや県道塩釜亘理線（県道 10 号線）を越えるような大きな津波は予想していなかった。
- 1978 年の宮城県沖地震以降、津波を想定した避難訓練を行ってきた。東日本大震災の前年の平成 22 年（2010 年）からは、校庭にいったん集まってから屋上に避難するのではなく、直接（ j ）に避難する方法に切り替えた。
- 消防団は住民の避難広報や誘導を行い、住民を連れて学校に 3 回来た。1 回目は寝たきりの方、2 回目は多数の（ k ）の不自由な方、3 回目は近くまで津波が到達していることを知らせに来たので、15:52 ごろ職員も急いで 2 階へ上がった。

- 2階に上がると、海側（東側）の窓（ドア）からは（ l ）が左から右へ流されていくのが見え、廊下にも水がゆっくり流れてきた。
- その後、一気に大量の水と（ m ）が廊下を流れた。上の階に上がろうとすると、2階の教室には（ n ）の男性が取り残されていた。しかし、自身の身の安全を考えそのままにして階段を上った。2階の廊下を流れた水とがれきは階段を伝って1階に流れていった。流れが弱くなったのを見計らった男性の様子を見に行った。幸い流されることなく無事だったので、若い人に声をかけて救助した。
- 予想以上の津波だったので、3・4階に待機していた児童・地域住民を（ o ）に避難させた。
- 17:30 ごろから消防の（ p ）で救出がはじまった。一人ずつ救出していくので、時間がたいへんかかった。仙台の繁華街は真っ暗だったが、石油タンクの（ q ）による炎だけが見えていた。
- 屋上に上がった直後に見えたのは、津波というよりも（ r ）だった。
- 津波は地震発生から（ s ）分後に到達した。しかし、当時、津波は地震直後すぐに来たという感覚だった。
- 校長先生が救出されたのは翌日の（ t ）時ごろだった。最後まで小学校に残ったのは、校長先生のほかには町内会長と教頭先生、消防団員であった。
- ヘリコプターに乗って荒浜小学校の校舎を見たとき、（ u ）人の命を救った校舎に対して「（ v ）のおかげ」でありがとうという気持ちが強かった。

問2 下線部(2)に関して、「情報伝達」と「経験」というキーワードに注目して、それぞれ2行以内の文章で答えなさい。

問3 下線部(3)に関して、地理院地図で次の操作をこなさい。

- (i) 深浦海水浴場を表示しなさい。
- (ii) 「－」ボタンを何度か押して、七北田川と名取川の両方の川が画面に表示される程度に地図の大きさを調整しなさい。
- (iii) 色別標高図を表示しなさい。
- (iv) 津波の指定緊急避難場所を表示しなさい。「地図」アイコン>「トップ」>「災害伝承・避難場所」>「指定緊急避難場所」>「指定緊急避難場所（津波）」

問4 下線部(4)に関して、(i) 避難場所の名称を答えなさい。ただし、先の間3(iv)の津波の指定緊急避難場所以外の場所を選んでもよいものとします。(ii) また、ここに避難することを決めた理由を2行の文章で答えなさい。

解答用紙（１）

第２章 東日本大震災に学ぶ防災とまちの復興－宮城県を例に－

1 節	問1	i	歳
		ii	● ● ● ●

2 節	問1	i	
--------	----	---	--

3 節	問1		緯度：	度	経度：	度
	問2		a	b	c	

4 節	問1					
	問2	ii	a	b	c	
		iii	a	b	c	
	問4		a	b	c	d

（ ）年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

解答用紙（２）

第２章 東日本大震災に学ぶ防災とまちの復興－宮城県を例に－

5 節	問1					
	問2	i				
		ii	a	b	c	
	問3					
	問4	ア	イ	ウ		
問5						

6 節	問1	a	b	c	d
		e	f	g	h
		i	j	k	l
		m	n	o	p
		q	r	s	t
		u	v		
	問2	「情報伝達」:			
「経験」:					
問4	i				
	ii				

（ ）年（ ）組（ ）番 氏名（ ）